

チャレンジプロダクトコースの企業実習制度はちょっと違う！！

「企業実習」＝「インターンシップ」ではありません。



ココがポイント
POINT ↓

【1】訓練修了後の正規雇用を目指すため、技術校生のやる気が違います！！

- 企業実習の実施は4分野（機械加工・溶接板金・電気・機械CAD）
- 訓練修了後の正規雇用を約束するものではありません

【2】実習期間中は採用試験！！

- 約3か月の実習期間で採用の可否を、実際の業務の中で判断が可能
- 能力だけでなく、社会性、人柄なども見えるため、マッチングの精度が向上

【3】企業と技術校生をサポート！！

- 企業実習中は、各専門分野の指導員が企業と技術校生の架け橋となります
- 技術校に在籍しながら企業実習を行うため、新入社員にありがちな精神的ストレスを軽減し、定着率が向上

ココが良かった！（実習受け入れ企業の方からの声）



- 過去はいきなり辞めてしまうということが多かったが、定着してくれている。
- 面接だけでは見えてこない部分を企業実習中にみることができ、良い人材確保につながった。
- 指導員が時々現場に足を運んでくれて直接サポートしてくれる。
- 企業実習が正規雇用を約束するものではないということで、気軽に取り組むことができた。

企業実習とインターンシップの違い

| 企業コラボ型の企業実習 | インターンシップ |
|---------------------------------|--|
| 求人分野に合わせた専門分野の訓練を行い就職することが第一目標 | 職業観の育成、学校卒業後の進路選択（職業選択）、社会人マナーの会得などが目的 |
| 現場で活きた技術をしっかり学び、身に付けられるよう期間は3カ月 | 期間は大学生で2週間から1カ月、高校生で3日から5日と基本的に短期 |
| 3カ月間の実習の様子を見て採否決定をすることが可能 | インターンシップを採用試験の代わりとして使用することは原則禁止 |

[チャレンジプロダクトコースの訓練の流れ]

[訓練期間1年、定員10名(4月入校と10月入校)]



企業実習の詳細・ご不明な点は、指導員へお問合せください。

西部総合職業技術校
チャレンジプロダクトコース
企業実習担当
(電話) 0463-80-3004

- 企業実習は、単なる校外訓練ではなく訓練修了後の正規雇用を目指せるようご協力をお願いします。
- 企業実習の期間は3カ月を基本とし、最初の1カ月を無給の研修(定時間勤務)、次の2カ月を就労しながらの実習(パート雇用)を標準として実施します。
- 企業実習の実施について、スケジュール・実習内容(担当業務)等は、打ち合わせを行い、それぞれの実情に合わせ個別に対応させていただきます。